

IV 良質な個別サービスの実施(高齢者福祉施設)

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
A-1 利用者の尊重						
(1) 利用者の尊重						
1	1	○				接遇マニュアルの整備と接遇研修の実施により日常の言葉使いや接し方の徹底を図っており、月1回の利用者懇談会では利用者と職員のコミュニケーションを図るなど、組織として信頼関係を構築する取組みが積極的に行われていることが確認されたのでa評価とした。
2	2	○				月1回の利用者懇談会をはじめ各種調査・アンケート等を通じて利用者の意向を聞く機会が十分設けられていると判断されたのでa評価とした。
(2) 利用者の権利擁護						
3	1	○				高齢者虐待防止や身体拘束廃止について具体的なマニュアル等が整備され、事業計画にも明示され、成年後見制度についても研修を行い実際に活用するなど具体的な取組みが確認されたのでa評価とした。
(3) 家族との連携・交流						
4	1	○				年2回家族会を開催し、誕生会や施設の行事に参加を促すなど利用者の日々の状況について面談や連絡以外にも積極的に行われていることが聞き取られたのでa評価とした。
(4) 生活環境づくり						
5	1	○				利用者の意向を懇談会などで聞くとともに、居室は多床室であるがカーテンやパテーションで区切れるようにしており、共有スペースについてもくつろげる場所を設けるなど利用者が過ごしやすい環境づくりに取り組んでいると確認されたのでa評価とした。
(5) 終末期ケア						
6	1	○				看取り関する指針があり、職員研修も行っている。今年度より終末期の場所等の選択を利用者・家族に確認するなど終末期の場所等に配慮がされていることが確認されたのでa評価とした。
A-2 日常生活支援						
(1) 食事						
7	1	○				施設サービス計画内に利用者の体調や身体状況に応じた個別の支援内容が記載されるとともに、管理栄養士による栄養マネジメントが実施されていることが確認されたのでa評価とした。
8	2	○				管理栄養士による個別の嗜好調査や、利用者懇談会において把握した嗜好を基に給食会議で内容を検討し、献立に反映させていることが確認されたのでa評価とした。
9	3	○				食事は、利用者のペースに併せてゆっくり食べることができ、仲の良い人同士でのテーブル設定、食べやすいイスの設置など喫食環境に配慮がされていることが確認されたのでa評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
(2) 入浴						
10	1	入浴は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			一人ひとりの支援内容が施設サービス計画に位置づけられているとともに、身体状況・健康状態を入浴時にも観察するなど、適切な入浴の支援が行われていることが確認されたのでa評価とした。
11	2	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	○			体調の変化により入浴を中止する場合も、希望により清拭等に変更するなど利用者の希望に沿った支援が行われていると聞き取られたためa評価とした。
12	3	浴室・脱衣場等の環境に配慮している。	○			滑り止めや手すりの設置、冷暖房の調整、臭気の除去など安全面やプライバシー保護等、環境に十分配慮されていることが確認されたのでa評価とした。
(3) 排泄						
13	1	排泄介助は利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			一人ひとりの排泄介助について施設サービス計画に位置づけられているとともに、個別の排泄回数の頻度や排泄物の異常の観察など、健康状態に十分配慮されているなど、適切な支援が行われていることからa評価とした。
14	2	トイレ環境に配慮している。	○			トイレの冷暖房の整備、多床室ではカーテン等で仕切れるなどプライバシーへの配慮がなされ、転倒防止のための滑り止めなど安全にも配慮されているのでa評価とした。
(4) 移乗・移動						
15	1	移乗・移動介助は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			移乗・移動介助の必要な利用者について一人ひとりの身体状況にあった施設サービス計画が策定されており、安全で、なおかつできるだけ立位が保てる自立支援に向けた移乗・移動介助の支援が行われていることが確認されたのでa評価とした。
(5) 外部介護サービスの利用						
16	1	外部の介護サービスの利用ができるよう必要な支援を行っている。			○	特別養護老人ホームのため非該当です。
(6) 認知症利用者への対応						
17	1	認知症利用者への対応が適切に行われている。	○			認知症についての対応マニュアルが整備され、職場内でも研修を行い、利用者がいつまでも安心して生活ができるような支援を心がけるなど、認知症利用者への対応が適切に行われていると確認されたのでa評価とした。
(7) 整容						
18	1	利用者の身だしなみや清潔への配慮について支援が行われている。	○			利用者の意向を個別または集団として聞く機会があり、身だしなみや清潔についても個別の施設サービス計画内に位置づけられていることからa評価とした。
19	2	利用者の個性や好みを尊重し、理容・美容への支援を行っている。	○			月に1回理容の日を設け、利用者や家族の意向を理美容業者に伝えるなど個性や好みを尊重した取組みが聞き取られたためa評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
(8) 睡眠						
20	1	安眠できるように配慮している。	○			充実した日中活動の支援はもちろんのこと、枕や毛布など利用者個人の好みに応じた対応がなされ、同室者に影響を及ぼす場合は、他の部屋の利用など安眠に対する取組みがなされていると判断されたのでa評価とした。
(9) 健康管理						
21	1	日常の健康管理は適切である。	○			日々看護師による看護記録が整備され、協力医院との連携のもと体調管理に取り組んでいる。また、歯科医師や歯科衛生士の訪問により口腔ケアにも取り組まれていることからa評価とした。
22	2	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	○			緊急対応チャートが整備され、医療機関等のリストとあわせて電話のそばに設置され、協力病院や嘱託医との連携も図られていることからa評価とした。
23	3	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	○			利用者一人ひとりの薬物について、看護師が管理するとともに、介護職員室にも一人ひとりの薬の目的などを記載した書類が整備され、服薬の間違いないよう確実にされていることが確認されたのでa評価とした。
(10) 外泊、外出						
24	1	外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。	○			利用者や家族の希望に応じ、外泊や外出がなされ、墓参りなど希望に応じた支援が行われていることが確認されたのでa評価とした。
(11) 所持金・預かり金の管理						
25	1	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	○			利用者貴重品管理要綱にもとづき、事務分掌でも担当者が決められ適切な管理体制が構築されていると確認されたのでa評価とした。
A-3 自立支援						
(1) 機能回復						
26	1	利用者の心身の状況に応じた機能回復の支援が適切に行われている。	○			利用者一人ひとりの身体の状態に応じて、施設サービス計画と同時に個別機能訓練計画が作成され、月に1度外部の理学療法士の指導も受けており適切な支援が行われていると判断されたのでa評価とした。
(2) 生きがいくくり						
27	1	利用者の余暇活動や生きがいくくりへの支援が適切に行われている。	○			中庭を使っの園芸活動や月2回の音楽療法、利用者の意向に沿ったクラブ活動など、余暇活動や生きがいくくりへの支援が適切に行われていると判断されたのでa評価とした。
(3) 地域生活への移行						
28	1	利用者の状況に応じ、地域生活への移行についての支援を行っている。	○			退所に関するフローチャートが整備され、実際に移行した際には利用者や家族等との調整を行っていることが聞き取られたのでa評価とした。